



第 10 号
平成 31 年 2 月 21 日
TEL (083) 258-0309
下関市立安岡中学校



平成の時代も残すところ二ヶ月余りとなりました。白血病を公表した池江璃花子選手からのメッセージに「神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」の言葉がありました。卒業後の進路に向けて最後の追い込みに入っている三年生や将来の進路について真剣に考え始めた一、二年生にとっても、励みになる言葉ではないでしょうか。

卒業を目前に控えた三年生は、進路が決定した生徒も、新しいステージでの学習に向けての努力を続けています。あらためて「受験は団体戦」という言葉の大切さを感じます。一年生は、「働く人」の話聞き、生徒は「将来を意識して中学校生活を過ごそう」と感じたようです。二年生は、これからの自分の生き方を堂々と発表し、厳粛で感動的な「立志式」を行いました。来賓の方々を始め、多くの保護者や地域の方々にもご参観いただきました。有難うございました。

協同突破

～一人ひとりの考動からPlus1の前進を～

「協同突破」…みんなで一つの課題を乗り越える

《チャレンジ目標》	
はじめ	時間への意識を高め、授業と休憩等の切り替えを強める。
結 束	仲間との繋がりや関わりを強くし、男女の溝を無くす。
感 謝	様々なものを大切に、それに対する感謝を形にする。

今年の生徒会スローガンが発表されました。チャレンジ目標は、「はじめ」「結末」「感謝」です。

卒業生のお話を聞きました



本校卒業の高校生が、後輩のために「自分の体験談」や「高校の紹介」をしてくださいました。二年生は、真剣に聞いていました。

特に印象に残ったことは、朝早く起きて部活へ行き、夜7時まで部活をするということです。そして、寝る時間まで削って勉強に取り組めることはすごいことだと思います。私も今の内からコツコツ勉強して、高校生になっても大丈夫なように頑張ります。

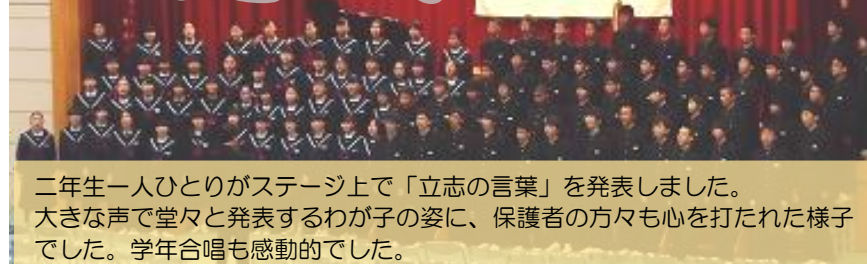
進学を目指している高校の話聞いて、すごく良い経験になったと思います。入学後の成績の話聞いて、レベルの高さに驚いたけれど、諦めなければ成績は上がると聞き、諦めない心の作り方大事だと思いました。

自分の将来をよく考え、それに向かって真っ直ぐ歩める学校だと思いました。私は日本の伝統的な文化が大好きです。将来の夢の実現に近づける学校だと思いました。

スマホやリモコンはシステムを使って動かしているので、システムエンジニアはとても大切なんだと思いました。「ありがとう」は最も大きいエネルギーを持っているので、日ごろから感謝の言葉を伝えたいです。

「勉強は大切」というのが印象に残っています。「子どもは遊べ」と聞いたことがあったけれど、やっぱり、勉強も就職する上で大切と感じました。

立志式



二年生一人ひとりがステージ上で「立志の言葉」を発表しました。大きな声で堂々と発表するわが子の姿に、保護者の方々も心を打たれた様子でした。学年合唱も感動的でした。

キャンドルを手に将来に向けての決意を発表しました。

「立志式」元服にちなんで(数え年の)十五歳を祝う行事。参加者は、将来の決意や目標などを明らかにすることで、おとなになる自覚を深める。【大辞林より】



自治連合会の方々から校内の環境整備をしていただきました。寒い中、ありがとうございました。

地域の方々、ありがとうございます

進路について

二月は、進路に向けての意識が高まる時期です。ほとんどの生徒が中学校卒業後に高校進学を希望しますが、高校に進学するためには受験を突破しなくてはなりません。合否は、当日の入学試験と中学校三年間の学校生活の様子(調査書)をもとに高校が判断します。※各学年の成績や生活態度も大きく影響します。

◆ 3月の主な予定 ◆

- 6(水) 同窓会入会式(3年)
- 7(木) 公立高校学力検査
- 8(金) 3年生を送る会・卒業式予行
- 9(土) 第72回卒業証書授与式
- 22(金) 保護者会1 予備入学
- 25(月) 保護者会2
- 26(火) 修了式
- 29(金) 離任式